

議会だより



令和3年度 一般会計当初予算可決!



春待つ魚野川

もくじ

令和3年度 一般会計予算 P 2	一般質問…………… P 15
施政方針に対する代表質問 P 4	閉会中の常任委員会…………… P 24
開会中の常任委員会…………… P 12	議員全員協議会…………… P 26



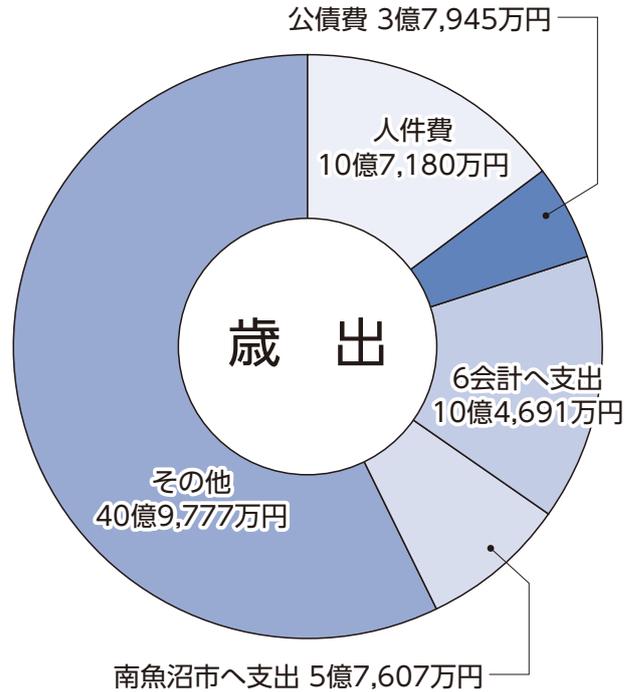
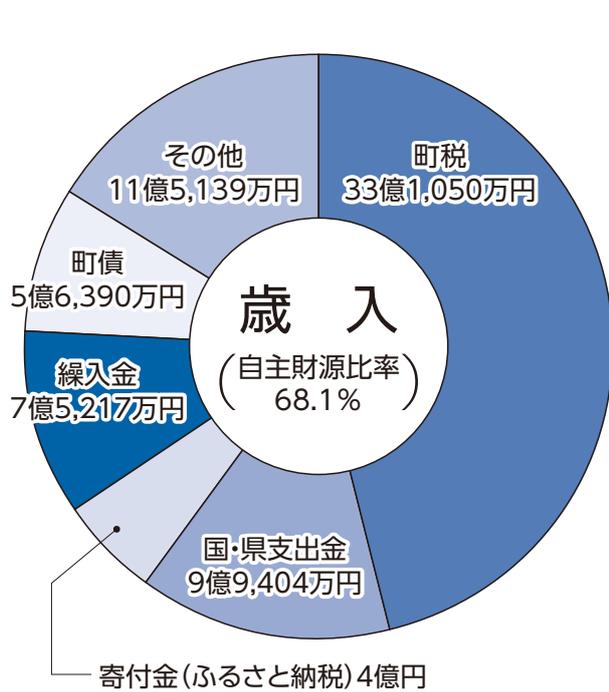
3月定例会web



町議会 web

令和3年度
一般会計予算

総額71億7,200万円



主な新規事業等 (3ページも参照ください)

- サテライトオフィススタートアップ支援事業 780万円
- 若者出会い創出事業……………275万円
- ふるさと納税…………… 5億8,585万円
- 地域おこし協力隊……………6,950万円
- 情報関連業務包括アウトソーシング…………9,881万円
- 三俣地域振興対策
(道の駅ウッドデッキ、自動ドア等) 2,256万円
- すくすく子育て応援金……………500万円
- 高齢者等PCR検査……………223万円
- 公衆浴場指定管理料……………1,400万円
- 森林情報等精緻化……………810万円
- 観光地域づくり法人運営支援……………441万円
- 国補道路橋梁新設改良…………… 1億3,970万円
- 湯沢西地区街なみ環境整備事業…………… 1,791万円

南魚沼市への業務委託

- 消防業務…………… 3億2,986万円
- ごみ処理(可燃、不燃)…………… 2億1,731万円
- し尿処理……………1,510万円
- 斎場業務……………448万円
- その他(特別支援学校、職業訓練、介護認定等)
……………1,577万円
- 合計(介護保険特別会計を含む) …… 5億8,252万円

他会計への支出

- 国民健康保険特別会計……………9,419万円
- 後期高齢者医療特別会計……………2,449万円
- 介護保険特別会計…………… 1億5,623万円
- 下水道特別会計…………… 4億9,000万円
- 水道事業会計……………374万円
- 病院事業会計…………… 2億7,826万円

基金残高 (令和2年度末見込み)

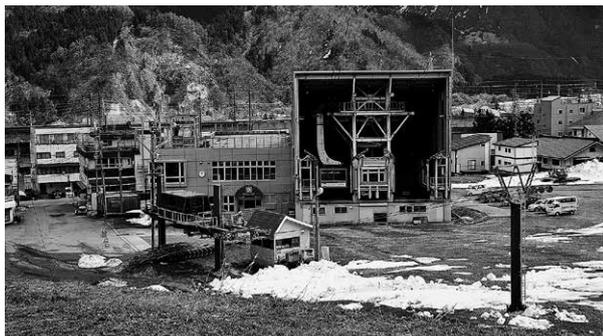
- 一般会計計 …………… 15億7,828万円
 - ・財政調整基金
 - ・湯沢こころのふるさと基金
 - ・美術館建設基金 ・減債基金等
- 特別会計計 …………… 3億8,810万円
 - ・国保支払準備基金 ・介護給付費準備基金
 - ・下水道施設改修基金

地方債残高 (令和3年度末見込み)

- 一般会計…………… 45億4,257万円
- 下水道特別会計…………… 27億3,660万円
- 水道事業会計…………… 2億7,781万円
- 病院事業会計…………… 3億2,425万円

湯沢高原ロープウェイ施設管理費

1億2,170万円



湯沢児童クラブ運営費

807万円



PCR検査費用支援事業補助金

500万円



商店街エリア活性化実態調査

200万円



魚野川右岸遊歩道整備

5,000万円



観光地域づくり法人運営支援補助金

8,000万円



新理事の集合写真

公園施設長寿命化対策支援事業

8,000万円



都市構造再編集集中支援事業

(駅東口エレベーター、旧湯沢小校舎解体等)

4億5,090万円



町長の施政方針に対する代表質問

3月15日

※町長施政方針は町広報3月28日号をご覧ください。

総務文教 常任委員会



代表質問者
南雲好幸



Q サテライトオフィススタートアップ支援補助金について、今後の見通しは。企業誘致

の取り組みについて「自治体コネクト」の仕組みと、どのような効果を想定しているのか。

A 国のテレワーク交付金の活用で、サテライトオフィス整備につなげたい。国に交付申請を出し、3件の整備が見込まれる。

「自治体コネクト」とは、(株)地方創生テクノロジーラボが運営する、自治体と企業をマッチングするサービス。地方創生に積極的な企業による自治体の課題把握というニーズと、民間企業ノウハウを必要としている自治体の両者を結びつけるプラットフォーム。全国で330の自治体、2

50社の企業が登録。一部を除き無料で利用できるため、当町も登録。中子町有地活用をはじめ、課題解決につなげたい。

Q 防災安全対策の充実について、避難行動マップ、消防サイレン吹鳴スピーカー改修、防災ラジオ以外に検討しているものはあるか。

A 令和3年度、旧湯沢小学校解体後に残る玄関2階部分に、現在不足している防災備蓄品の保管スペースを確保し、充実に図りたい。



消防サイレン吹鳴スピーカー

Q 湯沢駅東口のエレベーター設置、トイレ移設、バリアフリー化について、進捗状況と今後のスケジュールは。

A 令和2年4月30日、JR東日本新潟支社と、概略設計・詳細設計の協定書締結。詳細設計の完成は令和3年秋の見込み。トイレ建築設計は完了。移設場所はJR敷地内で了解を得ている。今後のスケジュールは、既存トイレ解体、冬前には建築完了させ、エレベーターの工事に着手したい。

Q 婚活支援について、これまでの成果は。若者の出会いにつながるコミュニティづくりは、何を行うのか。

A 結婚相手紹介サービスツヴァイへの入会費用助成を平成27年度から行っている。これまでに12名登録、1名が成婚、8名が退会、3名が継続となっている。

若者の出会い創出イベントを毎年開催し、1回当たり約10名の参加。今後、日常的なつながりを持てるようなSNS等を利用した新たなコミュニティを作り、イベント開催やその後のフォローを行うよう、一歩踏み込んだものを考えている。

Q 「GIGAスクール構想」により

整備された端末機器を活用したICT教育を推進」は何を実施するのか。
A 活用の仕方については、具体的に決まっていない。



タブレット端末

Q 童画のまちづくりについて、童画館に関する記述がない。考えを伺う。

A 現状は場所も規模も決定していないため、童画美術館についての記述ができなかった次第。



童画作品展

Q 観光やまちづくりと連携した文化財の活用について、具体的に活用を予定している施設等はあるか。

A 町所有の県指定文化財である三國街道脇本陣跡池田屋。三俣振興策と共に、三俣のマップや道の駅の案内看板に掲載してきた。今後も歴史的財産、観光資源として活用したい。また、他の文化財や歴史的財産の周知に努め、活用したい。

Q マグナとの交流事業が2年連続で中止となったが、今後の対応策は。

A 派遣事業参加を希望していた生徒もいると聞いている。卒業しても機会を与えられるよう検討したい。ホストファミリーの受入体制も検討が必要。今後、マグナ側と事業再開に向けた協議を進める。

Q 厳しさを増す町の財政状況について、町民に情報を伝える手段として、冊子や広報ゆざわ以外に検討できるものはないか。

A 町民に広く親しまれている広報ゆざわに、特集記事を掲載する。

Q 新聞を止めても、総務部に「広報ゆざわ等」を届けて欲しい」と申請すれば郵送で届くようになることを知らない町民もいる。町のホームページも分かりづらい。改善が必要ではないか。

A 広く町民に情報伝達されること重要であり、閲覧板利用も解決策になると思う。

Q 事務事業評価の結果は、予算編成に反映されているのか。

A 事務事業評価で廃止と評価されたものについては、その結果を尊重し、一部を除き予算に計上していない。

生活福祉 常任委員会



代表質問者
渡辺 千恵

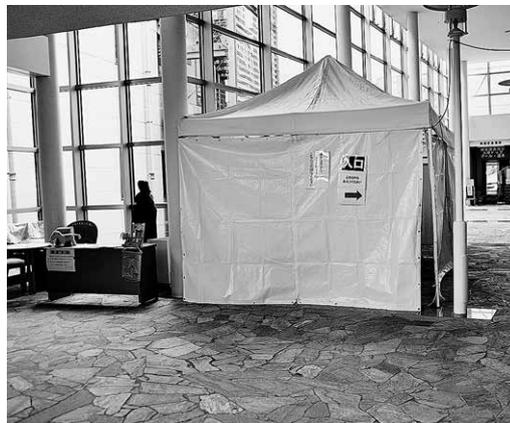


Q 介護サービス利用者、高齢者施設の従業者等へのPCR検査費用助成の実績は。

A 65歳以上の町民で介護施設への新規入所、居宅介護サービスを受けている方が対象。実績は、高齢者が5名、介護事業者が1名。

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種の案内送付や、接種までの流れは。

A 湯沢病院が保健センターを会場に行う。接種券と予約が必要。高齢者への接種券の送付は4月以降、接種開始は5月以降の見込み。



発熱外来者用テント

Q 自殺予防対策の「地域ネットワークの強化」とは、どのような取り組みか。

A 湯沢学園、消防、法律事務所、商工会、観光協会などが年に2回集まり、情報を共有。「命を支える心配事つないでシート」を活用し、専門機関に繋げる。

Q 「すくすく子育て応援金」について、制度の見直しや検討の余地は。

A 応援金を2回（生まれたとき、1歳の誕生日）に分けて支給することに変更する。

Q 「医療費削減に向けて検診等の保険事業を充実させ」とあるが、保険事業の充実が町民の健康増進のためであり、その結果として医療費の削減につながるのではないか。

A 健康増進は国民健康保険の安定にもつながる。

Q 「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」とは、具体的にどのような取り組みか。

A 高齢者の心身の課題に対応し、きめ細やかな支援で高齢者の健康と介護予防に努める。

Q 「アクション農園」の運営体制は。今後も、これまでどおり事業を継続するのか。

A 町民ボランティアの方々为中心となり、行政も協力している。今後子どもからお年寄りまで、誰でも参加できるものを目指していく。



アクション農園



Q 「軽・中等度難聴の方に対する補聴器購入費助成」は、どのような制度になるか。

A 身体障害者手帳を持たない18歳以上の軽・中等度の難聴者に対し、補聴器購入費用の一部を助成する。

Q 「福祉バス」、「高齢者等路線バス運賃助成事業」を継続とあるが、日常の買い物等が困難な高齢者を支援するためには、バス以外の交通手段についても検討が必要ではないか。

A 自力での路線バスの利用が困難な方に対し、有償ボランティア等を活用した輸送手段を検討中。



Q 元気な高齢者が生きがいをもつて活動できるよう、高齢者団体への支援を行うとあるが、新たな事業等を検討しているのか。

A 新たな活動は予定していないが、老人クラブ活動に対し年70万円の補助を行っている。今後も老人クラブ活性化のため、町としてできることをやっていく。

Q 湯沢町保健医療センターについて「指定管理者と緊密に連携し、必要な改変等を行い」とあるが、何のためにどのような改変を行う予定か。

A 経営面での健全化と安定化を目指すし、令和2年度には経営健全化交付金の増額と、3階病棟を地域包括ケア病床に転換し、収支のバランス

改善に取り組んでいる。長期的計画では、4階病棟の介護医療院への転換を検討する。

産業建設 常任委員会



代表質問者
並木利彦



Q 越後湯沢駅東口前商店街エリアをどのようなエリアにしていきたいと考えているのか。

A 都市マスタープランでは、多くの観光客でにぎわう拠点に位置づけている。旧湯沢小学校は解体する。東口付近を観光客に回遊していただき、飲食や買い物をしていただく。若い人が起業できるエリアにしていきたい。地域住民と十分に協議・連携し、計画していきたい。

Q 町長はDMOに何を期待し、雪国観光圏とはどのような連携を望んでいるのか。また、町の行う支援とは具体的にどのようなことなのか。

A 一社湯沢町観光まちづくり機構が4月1日からスタートし、観光を持続していくための中核的組織になることを期待している。



雪国観光圏では、湯沢町は宿泊滞在の中心地として位置づけられている。雪国観光圏の理念を共有し、連帯強化によって魅力的なエリアとしたい。補助金などの資金援助や、コンサルタントと町による戦略策定や運営の支援を続ける。観光統計なども町が続ける。

Q 「町内への経済効果の高いイベントや、新規のイベント等の実施を促す」とあるが、秋桜マラソンの実施について、どのように考えているのか。

A マラソンは参加者の飛沫対策がむずかしい。感染予防対策をして行っても費用対効果が少ない。

Q 「目的に即して柔軟に活用できる新たな財源の確保について検討」とあるが、どのような財源を想定し検討しているのか。

A どのような方式にするかは、今後の検討となる。

Q 観光施設関連では、東橋上流の遊歩道整備やトイレ及び上流側等の遊歩道の整備について記載されているが、既存の老朽化した観光施設の維持管理について、どのように考えているのか。

A 適宜、点検や修繕をしていく。

Q 湯沢西地区街なみ環境整備事業に併せて、地元と連携して課題であった路上駐車対策に取り組みないか。

A 地元の皆さんに主体的に管理していただき、関係機関と連携して対応していく。

Q サイクルステーション及びサイクルツーリズムとは、どのようなものか。

A サイクルステーションはサイクルにおいて無料で休憩できる場所。サイクルツーリズムとは、サイクルリングにより観光を楽しむこと。

Q 「新潟県や湯沢町商工会、南魚沼市や魚沼市と連携したインターンシップ受入れを継続する」とあるが、その効果や実績はどうであったか。

A 今年度、町内2企業、高校生2人を受け入れた。平成28年度から45人が参加したが、実際就職した実績はない。

Q 「働き方改革推進セミナーや資格取得の補助制度を実施し、労働力の確保を支援する」とあるが、セミナーの開催や資格取得の補助制度で、労働力の確保につながるのか。

A 魅力的な職場や、働きやすい職場をめざしていきたい。

Q 「湯沢産コシヒカリをはじめとする農産物のブランド力アップに向けた品質の向上」とあるが、お米以外にどのような農産物をブランド化しようと考えているのか。

A かぐら南蛮、アスパラガス、ズッキーニなど園芸作物11品目。



Q 「水田基盤の整備に対する補助制度を継続することで、耕作不利農地の改善及び耕作放棄地対策を進める」とあるが、補助制度以外の対策はないか。

A 耕作放棄地対策として、農地の所有者に対して農地管理等をお願いしている。後継者不足の対策として営農計画を提出していただき、出し手・受け手を明確にして計画をたてたい。

Q 「地域おこし協力隊を追加募集し」とあるが、現実的に定着・定住には繋がっていないように感じる。現状はどんな状況で、どう評価しているのか。

A 昨年、任期終了の方々は定住には結びつかなかった。一昨年、観光分野で任期終了された方は、一人定住していただいた。農業分野では、今年任期終了される方で一人定住予定。これからもサポートを強化していきたい。

Q 有害鳥獣を人里に近づけないための環境づくりとは、具体的にどのようなことを考えているのか。

A 被害防止、個体数管理、生息地管理などを行う。

Q 土樽松川浄化センターの統合は、どのようなスケジュールで進めていくのか。

A 令和3年度鉄道横断部分の実設計、接続管渠の新設工事を予定。工事期間は4年で、令和6年度完成予定。



土樽松川浄化センターから続く鉄道横断部分

令和3年度 当初予算審査特別委員会

令和3年3月18日～22日



委員長 南雲好幸

総務部

Q 起業型の地域おこし協力隊は、新たな募集か。ＩＴ関連に特化した人材を確保し、企業誘致につなげられないか。

A 地域課題の解決と、起業に結び付ける外部人材確保を図る新たな要綱を作成。ＩＴ関連の企業誘致は、サテライトオフィススタートアップ支援補助金により取り組む。

Q 新型コロナウイルスの影響による町税収入減の見込みは。予算総額は増額となっているが、予算編成にわたる苦労は。

A 税収は堅く見込み、減収分は国の交付金で補填される。土木事業に対する国の補助金等により予算規模は膨らんだが、新規事業や事業拡充の予算確保は困難な状況となっている。

Q 財政調整基金残高が減少している。どの程度の残高が適当か。

A 昭和63年以降、10億円を切ったことはなかった。令和元年度決算で

は、県内10町村で10億円を超えたのは5町村であり、一時借入れを行う自治体もある。基金は補正予算の財源、厳しい財政状況ではある。

Q 自主財源比率が低下し、今後この傾向は続くものと思う。財政の自由度が狭まっているということをしつかりと周知しなければならぬのではないか。

A 共通認識を持つことは大切。どういった状況にあるために財政が厳しいのか、理解してもらえぬ取り組みを考えていきたい。

健康福祉部

Q 人工透析患者の交通費助成は、どこまでの交通費が対象か。

A 病院や施設等に公共交通機関で行く場合の交通費の1/2を助成。月1万円を上限。

Q 高齢者等PCR検査とは。

A 施設への新規入所者や介護サビスの利用者等が自主検査を行った場合に、費用の一部を補助する。

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種の進め方など、どのようにイメージしているのか。

A 4月以降にワクチンが入ってくるが、どれだけ入るかわからないと詳細は決められない。

介護保険特別会計

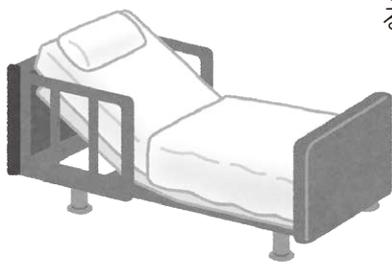
Q 介護認定率、重度の認定者数が県内で最も低い現状を、町民にわかりやすく伝えるべきではないか。

A 広報等で周知し、予防事業への参加も促していきたい。

病院事業会計

Q 患者用電動ベッドは何台購入するのか。

A 31台分の予算を計上。3か年で合計95台を更新し、令和3年度が最終年度となる。



子育て教育部

Q 保育料、奨学金の滞納繰越について、徴収の状況と今後の見込みは。

A 奨学金については分納誓約どおりに入金があり、連帯保証人との連絡が取れている。保育料については過年度分で未納がある。

産業観光部

Q PCR検査費用支援事業補助金の事業内容は。

A 県外から受け入れる従業員のPCR検査費用を、事業者に対して補助する。

Q 観光地域づくり法人運営支援補助金の内容は。運営支援等の委託では、どのようなことを行うのか。

A DMOが執行する予算を補助金として支出する。初年度の戦略策定や、観光振興計画の見直し等を予定しており、それらは委託事業として町が発注する。

地域整備部

Q 新三国トンネルの整備について、現在の進捗状況は。

A 令和4年春の開通を目標に事業が進められている。

Q 旧湯沢小学校解体の住民説明会

等のスケジュールは。通学路への影響はないか。

A 説明会等の予定は未定。通学路バス停変更は予定していない。

Q 温泉通りの景観整備とともに、違法駐車対策に取り組んでほしい。

A 滝沢2号線にも駐車車両があることなど把握している。警察に相談し、取締りをお願いしている。

下水道特別会計

Q 下水道使用料の滞納繰越についてはどのような状況か。

A 令和2年度中に100万円程度の収入があった。

Q 土樽松川浄化センターの統合が予定されているが、今後の地方債残高の見込みは。

A 地方債残高は年々減少している。今後も施設の更新等が必要であり、借入れを行いながら実施していく。土樽松川浄化センターは、貯留槽としての使用に転換する。

水道事業会計

Q マンションへの給水はどれくらいあるのか。

A 半分ほどのマンションに給水している。ここ数年大きな変動はない。

税務町民部

Q マイナンバーカードに保険証や運転免許証の機能が一体化されていくが、病院でのカードの読み取りなど、対応は進んでいるのか。

A 3月から保険証として連携になったが、機器導入接続に費用が掛かるため近隣の病院はまだ対応していない。基幹病院は新年度には接続と聞いている。

Q 固定資産税の減免分は国から補填、それ以外については。

A 固定資産税のほか、国保税も減免分が国から補填される。

国民健康保険特別会計

Q 新型コロナウイルスの感染拡大による受診控えを聞くが、医療費との関連はどうか。

A 医療給付費の予算は、過去3年の平均に基づき県が算出した金額により計上しているため、単年度では受診控えによる医療費の減少が見られたが、給付費の予算額としては増額となっている。

町長への総括質疑

Q 新型コロナウイルスのワクチン接種で、湯沢病院の収益見込みは。

A 接種費用から経費を除き、最大で3,600万円程度の収益を見込む。

Q 病院事業会計への補助金が年々増加。24時間365日の診療体制の見直しや、コンサルタントにアドバイスを求めるなど、病院維持の抜本の見直し時期ではないか。

A 今後も様々な見直しを行い、収益増を考えていく。現状を踏まえた改革を進めているので、町民の意向を把握しながら対応していきたい。

Q 病院運営審議会には、病院の運営や経営について意見を言える

委員を加えるべきなのではないか。
A 公募等により町民を代表して委員が選ばれていると思っている。

Q 「また行こう湯沢観光振興券」の配布停止で、スキーシーズンに稼げなかった観光宿泊関連の事業者は困窮。町民の状況を把握して観光復興の経済支援に取り組み予算を作らなければ、町民の理解が得られないのでは。

A 「また行こう湯沢」キャンペーンは見込みどおりに実施できなかったが、持続していくことが大切。宿泊施設や観光事業者の苦労は理解している。感染が収束していない状況での支援には様々な意見があるが、地域が活性化していく方策があれば取り組む。国や県だからできる支援と、町にできる施策とでは違いもあるが、状況を見極めて補正予算での対応も行う。

採決結果

● 一般会計

賛成多数 ↓ 可決すべき

賛成 渡辺、和田、高橋、岸野、関、宮田、田村、白井

反対 並木、佐藤

● 国民健康保険特別会計

● 後期高齢者医療特別会計

● 介護保険特別会計

● 下水道特別会計

● 水道事業会計

● 病院事業会計

それぞれ賛成全員 ↓ 可決すべき

令和
2年度

一般会計
補正予算

第10号 (専決) 総額2,661万円を追加		賛成全員 → 承認
歳入	財政調整基金繰入金…………… 2,661万円	歳出
		除雪対策費(道路)…………… 2,612万円
		災害対策費…………… 49万円

第11号 (専決) 総額1億7,032万円を追加		賛成全員 → 承認
歳入	疾病予防対策事業費補助金(国) 43万円 財政調整基金繰入金…………… 1億6,470万円 コスモスペアリフト損害賠償保険金 519万円	歳出
		庁舎修繕…………… 120万円
		ロープウェイ施設管理費…………… 2,719万円
		PCR検査…………… 112万円
		道路…………… 1億3,180万円
		除雪 庁舎駐車場…………… 159万円
		対策費 駅前駐車場等…………… 500万円
		湯沢学園除排雪…………… 242万円

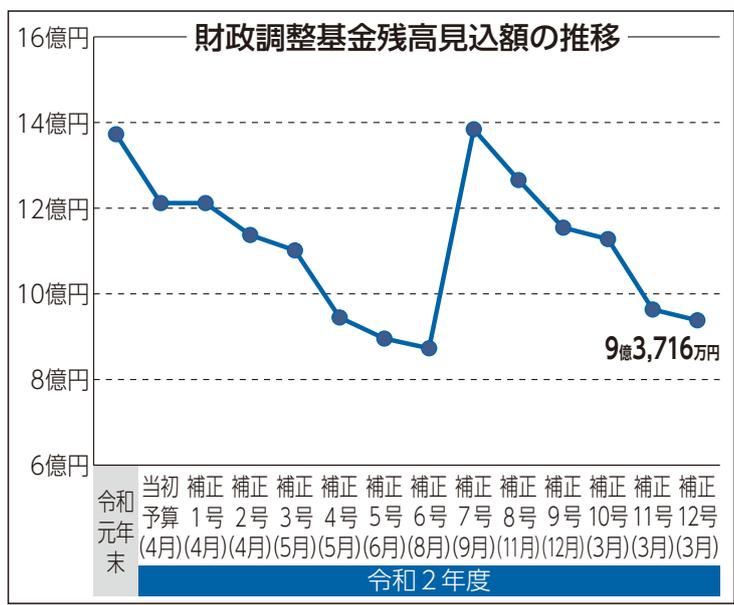
令和
2年度
3月9日

一般会計補正予算審査
特別委員会



委員長
並木利彦

第12号 総額7,577万円を追加		賛成全員 → 可決すべき
主な 歳入	町税…………… △ 14,210万円	主な 歳出
	地方消費税交付金…………… 1,589万円	
	児童手当交付金(国・県) ……△ 567万円	
	地方創生臨時交付金…………… 5,571万円	
	地方創生テレワーク交付金…………… 2,127万円	
	特別定額給付金……………△ 938万円	
	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 6,761万円	
	社会資本整備総合交付金…………… △ 2,286万円	
	サテライトオフィス開設事業(県) …… 286万円	
	観光基盤整備事業(魚野川遊歩道) △ 737万円	
	ふるさと納税寄附金…………… 7,000万円	
	財政調整基金繰入金…………… 2,496万円	
	こころのふるさと基金(ふるさと納税)繰入金 2,100万円	
	町債……………△ 1,200万円	
	その他……………△ 415万円	
	サテライトオフィススタートアップ支援 2,447万円	
	湯沢こころのふるさと基金事業…………… 9,418万円	
	情報化推進費……………△ 1,846万円	
	特別定額給付金事業……………△ 950万円	
	レジスター購入(税務課・町民課) …… 220万円	
	介護保険特別会計繰出金……………△ 688万円	
	児童手当費……………△ 600万円	
	予防接種事業…………… 6,765万円	
	魚野川右岸遊歩道整備……………△ 1,900万円	
	下水道特別会計繰出金…………… 3,672万円	
	公園施設長寿命化対策支援事業…△ 3,194万円	
	都市再生整備事業……………△ 1,619万円	
	湯沢西地区街なみ環境整備事業…△ 2,358万円	
	新型コロナ対策備品等(湯沢学園) …… 180万円	
	災害復旧費(古野蓬線・苗場線) …… 984万円	
	その他……………△ 2,954万円	



主な質疑

Q 魚野川右岸の遊歩道について、平坦な道で面白みに欠けるのではないかと。今年度は、駐車場から川遊びのメインとなる動線へ接続する経路を舗装するなどの整備を行った。今後は、遊歩道として歩ける程度の簡易な整備を予定している。

A 救急車の購入は起債対象外だったとのことだが、購入はしたのか。

A 購入済みだが、整備基準内であったため起債の対象ではなかった。

Q サテライトオフィススタートアップ支援の現状は。

A 3事業者から問い合わせがきている。

3月議会

3月25日 最終日

討X論

議案 令和3年度 一般会計予算

反対討論主旨

並木利彦

財政調整基金が年度初め見込みは9億3,700万円、年度終わり見込みが6億4,600万円。今年度の予算に観光経済復興予算と思われる予算がない中、基金が2億9,100万円減少見込み。

新型コロナウイルス禍において通常時の予算執行ではあまりにも無策すぎる。総合計画に沿って予算執行とのこと。

現時点での町内の累計感染者数は町民43名。町長は、反省点はなかったとのこと。反省なくして進歩なし。

新型コロナウイルス感染症対策本部はできたが、観光経済対策委員会などはまだできていない。予算を計画している間に、一回は開催しなければならなかったのではないか。観光にお金がまわっていないのだから別の経済対策を考えなければならぬ。新型コロナウイルス禍においての今年度予算はおかしいのではないか。

移住定住で人口を増やすことは大事なことではあるが、湯沢町に住んでいる人たちが売上げがあがらない状態を補助することが大事なことで

はないか。儲けられる町であれば、若い人も移住定住してくれる。現状

の湯沢町に若い人から移住していただいても共倒れとなってしまふ。ここ2年は湯沢観光経済対策を優先させることが一番だと思えます。

請願 湯沢町議会議場に国旗の掲揚を求める

反対討論主旨

佐藤守正

今の日本では日の丸を何の抵抗もなく受け入れる人が多数ですが、日の丸には日本が東アジアに暴虐な侵略戦争を仕掛けたときのシンボルだったという負の歴史が刻まれています。

湯沢町は国と対等な一つの自治体として自主的に町政を進めているのであって、議場には町の自治のシンボルとしての町章が掲揚されていれば、それで充分であります。

反対討論主旨

岸野雅人

日本に生まれたこと、国旗が世界一美しいこと、誇りに思っています。一般に議場に国旗は在って良いと考えますが、現在の議場をお金をかけ

てまで改装する必要はありません。

賛成討論主旨

南雲好幸

日本は国旗の歴史や意味を学ばない。戦争利用はこの国も同じ。歴史や文化、思いを表しているから象徴・シンボル。国があつて自治体がある。人々の就労で財政が成り立つ。その国と国民の象徴である国旗を、町政を議論する議場へ掲揚することは、町民が見ている前で審議を行うという会場設定でもあり賛成する。

賛成討論主旨

白井孝雄

現在、新潟県内の30市町村のうち、国旗掲揚をしている議会は24市町村です。今後、ますます国際化する世界で、我が国と国旗の「日の丸」に誇りを持ち、他国の国旗を尊重する国際感覚を養うことは極めて大切なことであると思えます。よって神聖な議場にも掲揚すべきと思えます。

陳情 最低賃金改善と中小企業支援拡充

反対討論主旨

岸野雅人

意見書は、最低賃金1,500円以上を目指せ、しかも全国一律にせよ。とても賛成できません。

修正案

議案 湯沢町総合計画修正案

岸野雅人

修正の内容

湯沢町総合計画(案)の「君と一緒に暮らす町」と関連部分の削除

その理由

移住・定住促進のキャッチフレーズならともかく、総合計画の目指す将来像として相応しくない。また総合計画全体を貫き、かつ象徴している語句とは言えない。

これを削除しても、総合計画の趣旨目的に何ら影響しない上に、文中記述の目指す将来像は変わらない。



開会中の常任委員会審査

3月10日(水)

総務文教常任委員会

委員長 岸野雅人

議案 常勤特別職に対する給与条例の一部改正

例の一部改正

新型コロナウイルス禍により、町長10%、副町長5%、教育長5%、4月から11月まで減額。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 公民館条例一部改正

浅貝分館を教育施設から普通財産にする改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 湯沢町総合計画

経過の説明。議会要望への対応等。

Q 議会はパブコメ期間内に意見書を提出したが、なぜ対応しなかったのか。

A 折角の提案。よく精査して、反映できるものはしたい。

Q 成果指標は、目的に対して的確に対応していないのでは。

A 確かにすべてに整ってはいない。確認可能なものを指標とした。

● 岸野委員長、原案一部削除の修正案を提出

○ 提案理由説明 岸野委員

「君と一緒…」は、総合計画の目指す将来像として相応しくない。

○ 執行部説明

「多様性を認める町」とも言いえない。「君と一緒…」で良いのでは。

○ 質疑応答後採決

修正案 **賛成少数** ↓ 否決

原案 **賛成多数** ↓ 可決

議案 普通財産無償貸付契約締結

① 浅貝町内会に5年間の貸付更新。

② 旧三国小学校をNPO国際教育研究会に1年貸付更新。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 土地賃貸借契約の締結

① 添名区財産管理組合に契約更新(3年間)

② ガーラ湯沢に契約更新(2年間)

③ MERIZOOTO湯沢に契約更新(2年間)

④ ライフスタイルサービスに契約更新(2年間)

⑤ サクセスリゾート越後湯沢ホテル契約更新(2年間)

⑥ HRTニューオータニに契約更新(2年間)
賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 ロープウェイ線路架設等土地占用契約締結

湯沢高原とガーラ湯沢を結ぶロープウェイ下の土地の契約更新。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 児童クラブの指定管理者

湯沢町社会福祉協議会と再契約、4月から5年間。

賛成全員 ↓ 可決すべき



児童クラブ

請願 議会議場に国旗の掲揚を

全国の議会で掲揚の動きがある。国家たるもの掲げるべき。

賛成多数 ↓ 採択すべき

生活福祉常任委員会

委員長 高橋政喜

議案 国民健康保険条例の一部改正

改正 税率を改める条例改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 介護保険条例の一部改正

第8期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料の規定を改める。

Q 湯沢町の保険料の水準は。

A 県内で最も低い。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 指定居宅介護支援等の事業人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

ケアプランを作成する居宅介護支援事業に関する条例改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 指定介護予防支援等の事業人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

地域包括支援センターに関する条例改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

全国的な動きがある。国家たるもの掲げるべき。

賛成多数 ↓ 採択すべき

議案 指定地域密着型サービスの

事業人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

要介護認定者に関するグループホーム、デイサービスの条例改正。

Q 説明や記録の電磁的対応とは。

A 説明等にタブレットを活用する。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 指定地域密着型介護予防

サービスの事業人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護

予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

要支援者に関するグループホーム、デイサービスの条例改正。

Q 要支援、要介護は別事業所対応か。

A 要支援と要介護で適用される条例が異なる。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 保健医療センターの指定管理者の指定

令和3年4月1日から5年間、引き続き「公益社団法人 地域医療振興協会」を指定管理者とする。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算に309万6,000円追加し、総額を10億9,872万8,000円とする。新型コロナウイルス感染症に伴う国保税の減免

分に対して、国から補填される補助金及び交付金額の確定によるもの。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算から37万4,000円を減額し、総額を1億1,436万2,000円とする。システム改

修の委託料が減額となる。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算から4,112万8,000円を減額し、総額を9億2,979万4,000円とする。

給付費の不要額を減額、負担割合に応じて歳入を減額。

Q 給付費減額は、新型コロナの影響か。

A 様々な要因がある。

賛成全員 ↓ 可決すべき



湯沢町保健医療センター

産業建設常任委員会

委員長 田村計久

議案 道路占用料等徴収条例の一部改正

国及び県の見直しに合わせ改正。

Q 町で該当する部分は。

A 第1種電柱は、1本につき年額340円から420円に、外径が0.15m未満、1mにつき年額27円から34円に改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 都市公園条例の一部改正

国及び県の見直しに合わせ改正。また、カルチャーセンター使用料金に卓球場、柔剣道場に冷暖房料を追加する。

Q 都市公園条例に該当する公園とは。

A 湯沢浄化センター



湯沢浄化センター

A 児童公園以外の公園。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案 令和2年度 下水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額から4,038万1,000円を減額し、総額を10億9,266万1,000円とする。

地方債の限度額を1億2,810万円に変更する。

Q 繰越明許費が高額だが、来年度で事業終わるか。

A 電気関係工事が来年度になるが、終わる予定。

賛成全員 ↓ 可決すべき

陳情 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める

賛成全員 ↓ 採択すべき

議員表決結果報告

令和3年3月定例議会

- ・採決結果の記載方法 (可=賛成多数で可決・採択等の場合：否=賛成少数で否決・不採択等の場合)
- ・表決結果の記載方法 (議員個々の賛否：賛成=○・反対=×・欠席=欠)：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	渡辺千恵	和田一郎	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	白井孝雄
令和2年度	一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算(第11号)の専決処分の承認	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長提出	副町長の選任	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町常勤特別職の職員に対する給与条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町行政財産使用料徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町旧学校施設使用料徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町介護保険条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町道路占用料等徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町都市公園条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町公民館条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町総合計画	可	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○
	※ 湯沢町総合計画に対する修正動議(発議者 岸野雅人)	否	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×
	普通財産無償貸付契約の締結(旧浅貝保育園施設)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産無償貸付契約の締結(旧三国小学校施設)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(添名区財産管理組合)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	土地賃貸借契約の締結(株式会社ガーラ湯沢)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土地賃貸借契約の締結(株式会社MEリゾート湯沢)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約の締結(株式会社ライフスタイルサービス)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約の締結(株式会社サクセスリゾート越後湯沢ホテル)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土地賃貸借契約の締結(エイチアールティニューオータニ株式会社)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ロープウェイ線路架設等による土地占用契約の締結(株式会社ガーラ湯沢)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
湯沢町保健医療センターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
湯沢町児童クラブの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和2年度	一般会計補正予算(第12号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度	一般会計予算	可	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
	国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下水道特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
病院事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願等	湯沢町議会議場に国旗の掲揚を求める請願	否	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○
	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情	可	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
議会提出	湯沢町議会会議規則の一部を改正する規則の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書	可	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○
	基準日以降の令和2年度出生児にも特別定額給付金を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



Q 新型コロナワクチン接種はいつ始まるのか

さとう もり まさ
佐藤 守正 (文責)



A 高齢者への接種は5月の連休後だろう その他の若年層は8月になるかもしれない

質問 高齢者だけでも2,700人になる大事業である。接種に係るものもその事業は、どの部署が担当するのか。

答弁 健康福祉部が担当する。仕事量が多くなるので、係長級の人員を一人加配する。

質問 接種会場はどこか。一日に接種する予定の人数は。

答弁 接種は湯沢病院にお願いし、病院に隣接する健康増進施設一か所で行う。毎週水曜日の午後と、金曜日の午後の週2回行う予定。一日に接種する人数は最初は80人くらいにし、徐々に増やして最大180人くらいにしたい。

質問 ファイザー社のワクチンは管理が難しいとの話も聞くが。

答弁 ワクチンはマイナス75度での保存が必要になることから、専用の冷凍庫を用意する。振動も厳禁ということで、輸送にも気をつけなければならない。

ければならない。ワクチン管理は湯沢病院が責任を持って行う。

質問 高齢者2,700人に接種が終わるのは、いつ頃になるのか。

答弁 ワクチンは接種から21日おいて2回目の接種をする。だから最初の接種から2週間経ったら新規の接種は中断して、そこまで接種が終わった人に2回目の接種をやることになる。これを繰り返すのだから、高齢者だけでも接種が終わるのは7月の末になるだろう。一般の人はその後だから、全町民への接種が終わるのは、今年いっぱいかかるかもしれない。

質問 事前に接種を希望する日を申請しなければならぬのか。

答弁 ワクチンは解凍・稀釈したらすぐ使い切ってしまうので、当日の被接種者の人数把握は正確にやらねばならない。

事務担当者は希望者数の把握と調整で、難しい仕事をこなすことになるだろう。

質問 基礎疾患を持っている方の処遇は。

け医と事前に相談しておいてほしい。当日に医師の問診もあるが、できるだけ事前に医師と相談しておくことが望ましい。



Q 新型コロナウイルス ワクチンの接種は

&

みや た ま り こ
宮 田 眞理子 (文責)

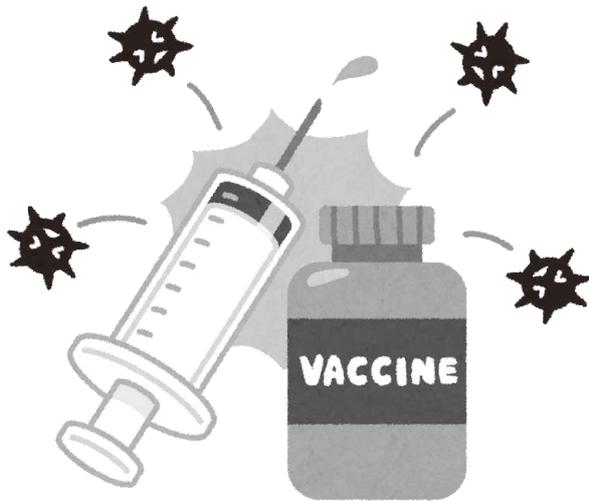


A 5月以降に本格的に開始の予定



質問

ワクチンの接種会場、順番などの手順を伺う。ホームページや広報などでもお知らせが出て、ワクチン接種券の発送の準備を始めているという。担当大臣の記者発表では、自治体の柔軟な対応を望むという話であった。国から県、県から町にワクチンが来なければ、どうしようもない話である。それまで私たち町民は粛々と感染防止に努めながら過ごし、ワクチン接種について理解をしておかなければならない。



高齢者からはじめ、週に260人接種で一回目が終わるのに2か月かかる。湯沢病院で予約・接種で問合せによりひっ迫することはないか。町内ごとの割り振りやコミュニケーションはできているか。

町内在住者で、住民票を他の自治体においている、またその逆の湯沢に住民票を置きながら他の自治体に居住している学生等もいるであろう。そういった方々の対応はどうしていくか。ワクチン接種者に接種率向上・地域活性化のため、地域商品券を配布している自治体があるが、少しでも町の活性化につながると思うが、町の取り組みはいかがか。

答弁

ワクチン接種については水曜・金曜の午後を予定しており、接種会場は保健センターの集団検診室で実施する。玄関ホールで受け付け、2階会議室で予診、隣の保健指導室で接種。検診室で待機の流れである。接種は住所地で行うもので

あるが、現時点での話であるが住所地から接種券を取り寄せていただくことになると思う。未確定な部分があるので、決まりしだいお知らせしていく。商品券などワクチン接種に付加価値をつけることは考えていない。感染対策等に3億円以上かけている。そのうち1億9,000万円を地方創生臨時交付金を充当している。接種にかけてではなく、できることをやっていく。

Q

新型コロナウイルス禍で
出産したお母さんたちに町として
「お気持ち」をしめすべき

A

考えていない

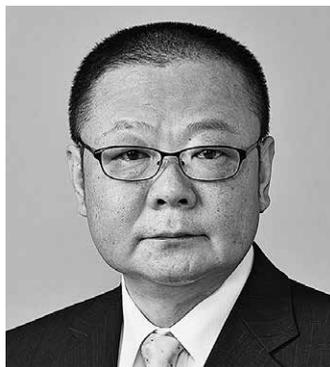
質問

子育てに手厚い湯沢町である。禍中であってたくさんの方の不安と戦い、出産されたお母さんたちに、町として「よく頑張った」と気持ちを示すことをしないか。制度を変えていくという

「すくすく応援金」への上乗せなど、どうか。

答弁

禍中での出産は精神的にも大変だったと思うが、新型コロナウイルスにかけて、上乗せや新たな支援金の支給は考えていない。



Q 駅東口アーケードの修繕の 必要があると思うがどうか

和田 一郎 (文責)



A 観光客を迎える玄関口でもあり 対応していきたい



駅東口アーケード

質問

越後湯沢駅東口ロータリーのアーケード部分の劣化が目立ってきている。お客様をお迎える玄関口であることから、早急な修繕が必要と考える。

答弁

東口アーケードは建設してから30年以上が経過し、老朽化した部分も散見される。多くのお客様が利用する場所でもあり、見苦しく

ならないように修繕したい。

最近では平成28・29年度に修繕を行っている。駅舎から駅通りへとつながる中央部分についても以前から随時手を入れ修繕を行ってきたが、行き届かない部分もあると思う。今後折を見て修繕をしていく。

駅前広場については、JR東日本と町で管理協定を締結

しており、修繕などを行うに当たっては協議が必要となる。

適切な管理が行えるよう協議を行いながら対応していく。

質問

電気の傘の掃除や電球の交換なども、簡単にできないのか。

答弁

ご指摘いただいた部分は確認して、きれいにするように話していきたい。観光客をお迎える玄関口であり、湯沢としてもきれいにしておく必要があるので、対応していきたいと考える。

質問

グリーンシーズンの誘客のための施策の一環として、中央公園の陸上競技場の改修を進めてはどうか。今後、夏季合宿や大会の誘致をさらに拡大していくためにも、必要な改修工事等を行うとともに、必要な公認を取得するなどの対応を進める必要があると考えるが、いかがか。

答弁

夏季合宿は町にとって大切な夏季観光の柱で、陸上合宿もそのひとつである。今後についても競技場の修繕が必要な箇所があれば、しっ

かりと行っていきたい。

また、現行の公認期間は2021年11月30日までとなっており、前回の公認を受けた検定員からは今回は何とか基準を満たしていたが、次回の検定に際してはある程度の手を入れないと難しいと指摘されている。

競技会などによる利用が頻繁であれば、経費を投入して整備し公認を継続することも考えられるが、現状は難しい。

質問

グリーンシーズンに力を入れていくとしたなかで、競技場の4種公認を取得する気はないか。

答弁

グリーンシーズンに力を入れて、陸上競技の合宿でも多くの方に来てもらいたいと思っている。ただ、大きな大会を行うということになると、もっと整備された大きな施設で、ということになると思う。

現状も大会・記録会が行われているが、数が多くない状況下では4種公認を取得することは難しい。

Q 国道17号三保防災事業の進捗状況は

わた なべ ち え (文責)
渡 辺 千 恵



A 令和3年度から用地買収が進められその後工事着手になる予定

問 今回の大雪で国道17号、関越高速道路が止まり、全国的な話題となった。国道17号は赤坂バイパスの計画も平成10年からあるが、時間がかかると思う。

答 国道17号は湯沢町の観光・経済にとっても大変重要な路線であり、市・県を結ぶ大事な道路なので、赤坂バイパスについても消費パイプが設置されていない場所についても、また湯沢町からの新三国トンネルの26キロ区間を防災道路、産業道路として国交省・北陸整備局・長岡国道事務所にて毎年要望しているが、これからの議会とも協力しながら引き続き要望していく。

問 国道17号赤坂付近は消費パイプ設置により、それ以来登坂不能がない。しかしその先の湯沢重機前や湯沢錦鯉ランド前などの登坂が立ち往生の原因となっている。

答 この部分についても、消費パイプを作っていただくよう、国に対して強く要望していただきたい。



一晩で降った雪

問 国道17号は「生活」と「命」を守る大切な道路。今回のように高速道路、国道と通行止めになった場合の緊急に関わる場合など、どう対応すべきか考えておかないければならないのではないかと感じています。状況に応じて行政としてできることを、しっかり取り組みをしていく。

答 移住者はこの大雪など長く住み続けるには負担が大きく、住み続けていくことができるのだろうか。移住を検討されている方には冬の大変さを包み隠さず伝えている。また移住された方は、雪の大変さ以上に冬の素晴らしさ、自然環境の魅力を感じている。

雪国は雪の降らない地域と比べ冬の生活費負担大



自宅の屋根には2メートルの雪が

問 雪の降る地域と降らない地域では、光熱費や住宅除雪の負担が大きい。町としても、冬の生活を支えるためにできることがあるのではないかと感じています。

答 現在、「湯沢町克雪すまいづくり支援事業」や高齢者、弱者に対して屋根の除雪費用補助もしている。また道路除雪に毎年3億円近くかけている。町の財政にも限りがあるので、町としてできることについてやっていきたい。

問 新型ウィルスの影響で税収が減り、厳しい現状。町として税収を上げるため、ふるさと納税など今以上に工夫し考えたらどうか

答 ふるさと納税についても、新しい産物を取り入れたり、先を見据えて考えていく。



Q PCR陰性&ワクチン接種済パスポート 持参往来方式観光湯沢モデル推進を & 南 雲 好 幸 (文責)



A 考えていない

質問 移動制限ではなく、陰性の人・ワクチン接種済の人は移動でき、消費活動や経済活動ができる仕組みを作ることに、また、そういった

答弁 メッセージを観光地として発信することが必要ではないか。広く全体への検査・発信は考えていない。ワクチン接種が収束への切り札

成果を出した湯沢学園の 育成型教育の継続性が危ぶまれる

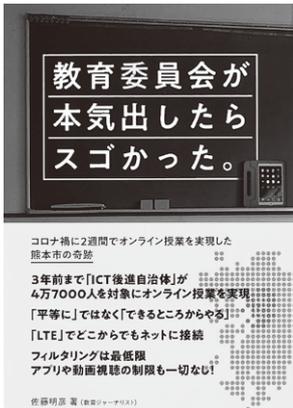
質問 学力の向上、系統的・継続的な教育を掲げ、できた育成型指導法。実現した学力向上の湯沢学園の特色と魅力である。この継続が崩れているのでは。

長答 児童生徒数が少なく学力の変動が生じやすいことと、小中学校とも1校目、2校目勤務の教員の割合が高く、教員の入れ替わりが多いことが継続的成果を上げるための課題。

ウイルス感染症禍、 湯沢学園ICT活用進まず

質問 4月から生徒一人1台一用の準備を進めている段階。のタブレットが配布。ウイルス感染症禍、休校等による授業停滞に対応した遠隔授業の推進は。

長答 先生方から希望ソフトの確認や、ICT活用
の校内研修で、端末活



町独自に補助教員の採用は難しい

質問 先生方の過酷な状況を改善できるよう、①町独自に補助教員採用を。②実

答弁 継続的に多額の負担が生ずる補助教員を採用することは難しい。また、特定の大学・学部への進学者に特別の制度は考えていない。

湯沢町に流雪溝は一つもなかった

質問 雪のやり場がなくなるようなドカ雪災害に対応するために、水の確保ができるところは徐々に流雪溝を計画・整備できないか。

答弁 水源と地域の総意が必要。冬の水の確保は難しく、現時点で湯沢町では流雪溝は一つもない。道路や歩道についてはしっかりと除雪していく。



Q 新型コロナウイルス感染者確認時の対応で反省点はあったのか

並木利彦(文責)



A 現状のところは対応できている

概には言えないが湯沢町で一人感染が確認すると、東京都での感染者数に換算すれば約1,700人感染した計算になる。湯沢町の多数の感染者数から、湯沢町で予算化された「また行こう湯沢観光振興券」が東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、東京都の緊急事態宣言が解除されるまで配布が認められていない。

現在、3月12日まで新型コロナウイルス感染数は町民15名、町外28名、計43名。東京都人口約1,390万人、湯沢町8,000人、約1,700倍。

シミュレーションではなく、新型コロナウイルス対策本部会議できちんと対応していく趣旨であった。

湯沢町の新型コロナウイルス感染者確認時の対応シミュレーションを作成すること。対応シミュレーションの内容は。対応シミュレーション通りにできたのか。反省点などはあったのか。

「また行こう湯沢観光振興券」と、マイス補助金では趣旨が違う。

「また行こう湯沢観光振興券」は、マイス補助金とは趣旨が異なる。緊急事態宣言解除まではGOTOトラベルの上乗せであるので、大きく声を上げて誘客できなかった。

緊急事態宣言解除まではGOTOトラベルの上乗せであるので、大きく声を上げて誘客できなかった。

3月21日を過ぎれば、今冬季シーズンは湯沢町にお金が回らないと容易に判断できるが、なぜ21日を待つことになったのか。

緊急事態宣言が3月21日から解除されて5月まで期限を延ばして配布をしても、宿泊施設の売上げは期待できない。GOTOトラベルが再開されても現行の限度額1万4,000円であれば、民宿など低金額で泊まれる宿は選ばれない。

「また行こう湯沢」
観光振興券

「また行こう湯沢」観光振興券 ¥500

取扱店

観光立町宣言 湯沢町 君と一緒に暮らす町

湯沢町観光経済対策として、去年11月の臨時会で「また行こう湯沢」が予算化された。観光にお金を回せば他業種にも回るとのことだった。しかし現時点において、観光にお金が回っていない。これからの観光経済対策

湯沢町観光経済対策として、去年11月の臨時会で「また行こう湯沢」が予算化された。観光にお金を回せば他業種にも回るとのことだった。しかし現時点において、観光にお金が回っていない。これからの観光経済対策

は。観光で冬稼ぐことができなかった事業者は夏観光に期待している。夏の観光経済対策は。

まずは感染対策を実施し、国・県の状況を判断し、新しい観光団体と協議して実施していく。



Q 目指す将来像「君と一緒に暮らす町」は変だ

岸野 雅人 (文責)



A どこに出しても恥ずかしくない

質問 「君」は、一般には男性の上から目線。詩歌の世界では恋愛の対象とのこと。「一緒に」はひとまとめの、「暮らす」は生計をたてる(＝所帯を持つ)ような意味がある。だから最も端的には「同居する町」ととれる。

また一般市民に、見ず知らずの人と「一緒に暮らす」感が芽生えるものか。

答弁 ブランドスローガンを総合計画の目指す将来像に位置付けることは適正、審議会の異論もなかった。

質問 長所は、七五調で調べがよいこと。他自治体の「目指す将来像」には、自らはこうあるんだと言うアイデンティティ(自己存在証明)、誇りや自尊心を感じとれる。言葉にどんなに思いを詰め込んでも、見る人には字面以外のものは見えない。目にするたびに

音声ガイドも流れない。大切なのは、それを見て何を感じるかだ。

町長は「君と一緒に暮らす町」を見た市民が、誇りや自尊心、アイデンティティを感じ取れるとお考えか。また旅行者は何を感じると想像するか。

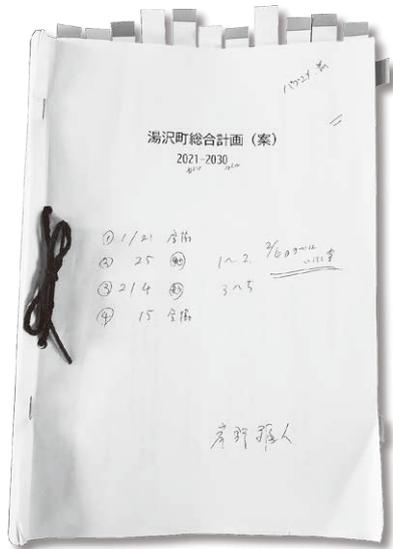
答弁 10年先を目指しての総合計画、誇りやアイデンティティとはまた別だ。市民には、温かさや優しさを感じ取っていただけたらと思うし、旅行者にとっても同様と思う。

質問 聞けば、込めた思いばかり。「君と一緒に暮らす町」は、観光振興の臭いがしない。移住定住の香りは

するも、将来の町のあり方が「君と一緒に暮らす」では分からない。

町の将来像として、今後10年掲げる看板が「あなたと同居したい」と読み取れるものであることが、湯沢町の将来と市民のためになるのか。どこに湯沢町の矜持があるか。町民の名誉と自尊心が感じ取れるか。

答弁 移住定住用の呼びかけならともかく、この言葉に総合計画を受けとめて発信する力はない。少しは考え直さないと、8,000人町民、400万人以上が訪れる町の総合計画。どこに出しても恥ずかしくないフレーズだと、自信を持って言える。



Q 観光振興券 続けて配るべきだった

A 企画は継続してはいない

Q 限られた町の財源、方針や規模を示し、有効な経済対策を

A 国庫の動向を踏まえ検討していく

- 他自治体の総合計画の目指す将来像 (岸野調べ)
- 新潟市…「人々の英知が集う、日本海交流開港都市」
 - 長岡市…「前より前へ!長岡 ～志を未来に活かし 輝き続けるまち～」
 - 神戸市…「世界とふれあう 市民創造都市」
 - 鎌倉市…「古都としての風格を保ちながら 生きる喜びと魅力を創造するまち」
 - 千代田区…「都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち、千代田」
 - 堺市…「輝くひと やすらぐ暮らし にぎあうまち ともにつくる自由都市・堺」
 - 仙台市…「誰もが心豊かに暮らし続けることができる都市、『ひとが輝く杜の都・仙台』」

Q 越後湯沢駅東口エレベーター設置等の進捗は

たか はし まさ き
高 橋 政 喜 (文責)



A トイレの完成は令和3年秋、エレベーターは同年冬前着工、令和4年冬前完成予定

質問

令和2年4月、全員協議会で企画政策課より湯沢駅東口エレベーター設置等について説明があった。内容は「概算費用」1億1,150万円、「利便性」公共交通のアクセスが容易、トイレと隣接する既存施設への影響、「その他」設置位置が屋外のため雪対策、財産の混在が少なく、保守管理が容易。
令和3年着工との説明だが、現在の進捗を伺う。

答弁

トイレ着工は令和3年夏ごろ、秋に完成予定。エレベーターは令和3年冬前に着工し、4年冬前完成予定。



Q

三俣大雪崩について町史の一部変更はできないか

A

今後決定的な確証がない限り町史の一部変更はできない

質問

大正7年1月7日に発生した三俣雪崩は、158名の人命を奪い、三俣半数の28戸が倒壊埋没し、雪崩としては世界有数のものとなった。当時、発電工事のためのトンネル工事が連日昼夜問わず行われていた。当時1月は雪が多く、工事はハッパ

作業も行われ、経済的な繁栄もあり三俣には多くの作業員が入っていた。その中で雪崩のため多数の被害者がでた。しかし、自然発生的な雪崩で、あれほどの雪害となるのは不自然と思える。表に出せないことがあるのではないかと

思うようになった。

Q

大源太堰堤の排水トンネルは

A

国の施設内容が決定後、協議する

質問

排水トンネルの活用について、ワーキングのまとめ、アンケート結果、町としての考えは。

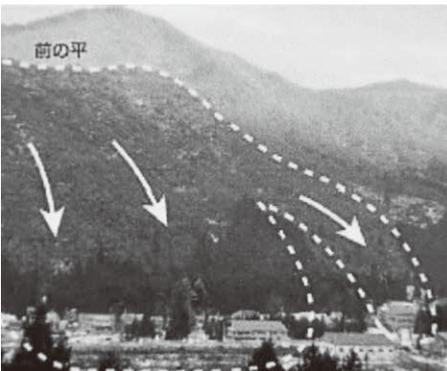
答弁

ビュースポットの活用、老朽化した看板の撤去、

不足する駐車場等、排水トンネルの活用は工事終了後に詳細な協議をする。

答弁

町から依頼された方々によって構成された町史編集委員によって執筆されたものであり、現在の状況で町史の一部変更はできない。





Q 総務省の地域プロジェクトマネジャー制度を活用して人材の確保を

南 雲 なぐも 正 ただし (文責)



A 国の制度を活用することができれば検討したい

質問

総務省では市町村が重要プロジェクトを実施するに当たり、外部専門人材、地域、行政、民間などの関係者を橋渡しし、プロジェクトをマネジメントするための人材を「地域プロジェクトマネジャー」として任用するための支援措置を新たに創設する。

市町村が地域の活性化に必要なノウハウや人脈を持つ人材を、一町村あたり一人、任期は3年間、国は年間650万円を上限に人件費を支援し、活動する地域に住民票を移して移住することが条件である。

この制度を積極的に活用し、まちづくり、地域おこしのリーダーとなるべき人材を確保して計画がスムーズに進展し、町の活性化に

つなげることが必要であると思うが。

答弁

新たに迎える副町長も能力優秀な方だと認識しているので、121人の職員体制の中でそれぞれが頑張っている、良いところを引き出しながら行政運営に当たりたい。

ご指摘の国の制度に乗るなかで、専門的などころを補完してもらおう人材確保を含めて検討したい。



Q

新型コロナウイルス感染拡大による首都圏の緊急事態宣言解除後の町内消費の喚起と町民の生活支援対策を

A

今後の状態を見たらうえで、町としての経済対策等を考えたい

質問

首都圏の感染拡大に縮減傾向が続き、緊急事態宣言の解除も期待される。すでに湯沢町は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（第1次、2次、3次）1億9,175万円の交付を受けている。

緊急事態宣言の解除に向けて、町の観光経済の底上げに地道に取り組むことが必要であるが、当面は感染防止に全力を挙げながらサービス業を中心とする事業者の支援に合わせ、観光産業と直接の関連が薄い町内の事業者や町民に対しても等しく恩恵を受けられるように、町内の消費喚起につながるプレミアム商品券等の発行が必要であると思うが。

答弁

国内の感染状況やワフチンの接種状況、オリピックの開催状況等、今後の動向を判断し、新観光推進機構組織と協調しながら対策を取っていきたい。

なおプレミアム商品券については、100%上乗せすれば消費は2倍になるので、今後の状況を踏まえ検討したい。



閑散とする温泉街

閉会中の常任委員会調査

総務文教常任委員会

2月4日

子育て教育部

● 困窮子育て世帯の有無と実態

困窮は一部に見られるものの、新型コロナウイルス禍による困窮とは思えない。

● 援助を求める声は出しやすいか。

学校の様子は先生から。子育て支援連絡会で情報共有。そのように環境を作っているつもり。

● 困窮者の最初の相談窓口は。

子育て支援センターと健康福祉部の保健師さん。連携している。

● 青少年問題の現状（概要）

いじめは極少数。一部で虐待、経過観察中。有害図書取り扱いなし。

● 心配される件、改善しているか。

そうも言えない。中越事務所のアドバイス、最大人員で対処中。

● 問題の捉え方が違うようだが。

認識が変わってきた。安全最優先で軽微なことも把握するように。

● 学校教育のデジタル化への対応と課題

令和2年、電源等工事発注。タブレットは年度内納入。活用法が課題。

教師研修会などで対応中。当面リモート授業までは進まない。

● タブレットは生徒が持ち帰れるか。子どもが自由に見れるのか。

学校備品で中身が異なる。当面は持ち帰れない。有害なものはないと思う。

● その他報告

アリーナ棟の落滴シートを張り、防いでいる。屋根先端を除雪。体育館使用は可。

総務部

● ふるさと納税の現状と課題

有料広告やサイトを増やしたことが功を奏した。1月末4億6,000万円。

新型コロナウイルス禍で応援感謝券と返礼品の引換を可能に。また応援感謝券の有効期限を延ばしたい。

● 次の発券分の案内、返礼品との引換えの案内に入れられないか。

間に合わなかった。

● その他報告

サテライトオフィススタートアップ支援補助金
国の財政支援での実施計画作成中。検討中1社、さらに検討の候補あり。

新潟県実施「湯沢版Mas」の

検討状況

● 県事業のマース、町内業者が関与しているのか。

新潟・東京のコンサルJVが受託した。

● 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国の臨時交付金第3次は5,300万円。約6,000万円持ち出し分に充当。

● となると、町独自の事業が可能になるのでは。

一昨日の連絡なので、とりあえず会計に入れる。

● 総務省より連絡とお願い

「コロナ禍」「コロナ」など、略の蔓延は好ましくない。県内企業もある、配慮・注意の徹底を。

生活福祉常任委員会

2月2日

健康福祉部

● 町内新型コロナウイルス感染状況

12月以降、対策本部会議を4回開催、広報号外を2回発行。

湯沢病院は12月25日からPCR検査を開始。ワクチンの接種体制・対象者、国提示スケジュール、費用等。

ワクチン副反応、症状はすぐ出



PCR検査機

● 接種後30分程度の要経過観察。1回目の接種から21日間隔。

2回目の接種間隔は。

● 感染経路は追えているのか。医療従事者の範囲は。

保健所で追えている。医療機関、歯科医院、薬局、保健師等。福祉関係は含まれない。

● 高齢者施設職員は優先されるか。

高齢者向けに併せて早めに接種できると思う。

● 湯沢病院での自費PCR検査と今後の感染防止対策

12月23日1台目、1月19日2台目の検査機を購入。高齢者への検査費助成は5件、自費検査の実績は4件。病院出入口3カ所に検温器、入館者全員の体温を測定中。発熱者用待

合室、診察室を地下駐車場に設置。

Q 地下駐車場に設置するプレハブはどのようなものか。

A 駐輪場に設置するが、詳細は確認できていない。

Q 検査機やプレハブ、町の支出は。

A 全額が国の補助金で病院が購入。

●湯沢病院の運営状況

新型コロナウイルス感染症の影響で、入院・外来の患者数が減少。9月からは前年並みに回復。10月・11月はインフルエンザ予防接種の増加等により前年よりも増収。

基幹病院でコロナ患者病床確保のため、コロナ患者以外の転院を受け入れている。地域包括ケア病床への転換で増収。

町は、令和元年度の損失補填約3,666万円、減収に対する前倒し補填2,500万円（令和2年9月末時点の経常損失額の半分）を支援。

●老人福祉計画・第8期介護保険事業計画

概要版により説明。計画期間は令和3年度から令和5年度。これに基づき、新年度予算編成を行った。

Q 保険料基準額5,200円は、県内他団体と比較してどうか。

A 県内最低の保険料での据置き、第8期も県内最低と思う。

Q 介護職の人材不足や、それに伴

うサービス低下は心配ないか。

A 介護人材の不足は深刻。

●税金町民部

●マイナンバーカードの発行状況
申請交付数報告。12月から出張申請を実施。木曜・土曜は窓口延長。

安全性、健康保険証機能、マイナンバーの解説。

Q 福祉バス運行に合わせた出張申請など、実施してほしい。

A 人が集まる場所があれば検討したい。申し込みがあれば、企業での出張申請も行う。

産業建設常任委員会

2月1日

産業観光部

●新ごみ処理施設建設とごみ収集

建設候補地の決定に向け、内部検討も進捗に至らず。先進地視察は、新型コロナウイルス感染者の発生で中止。南魚沼市長が3月に何らかの発表。内容協議はその後に。

●冬季観光政策と観光客の入込状況、町の経済状況と新型コロナウイルス対策事業

●入込状況・経済状況
すべての業種、前年の少雪状況を大きく下回り、非常に悪い。

・湯沢町宿泊キャンペーン応募者

前期（10月・11月） 3,200名
後期（12月・1月） 900名

・「また行こう湯沢」観光振興券事業
11都府県に緊急事態宣言。1月30日の期限を3月31日チェックアウトの方までに変更。

・スキー場モバイルスタンプラリー
参加者数 318名（1月28日現在）

・湯沢冬花火
冬花火好評、回数を大幅増（34回）。

Q 経済が最悪。お金が回る政策を考えているのか。
A 外部要請もあるが、緊急事態宣言中はできない。解除後を検討中。

●DMO設立、進捗状況と次年度事業計画

3月中旬に観光庁DMO候補法人登録公表予定。名称・組織・定款変更。令和3年度事業計画など準備中。

4月1日新体制始動。

Q 事務局長公募の状況は。
A 全国から多数の応募がある。

Q 湯沢温泉観光協会との合併は。
A 令和4年には合併したいと温泉観光協会から申し出。詳細は未定。

●その他報告

・第2次環境基本計画(案)の内容説明

●地域整備部
●建設課 当年度事業の進捗
道路橋梁費・都市計画費・住宅

費・災害復旧費など進捗状況の説明。

Q 東口駐車場、雪による不具合は。
A 機械やナンバーに着雪はあるが、システムの不具合はない。

Q 不払いの請求は誰がするのか。
A 請求は、システム会社が行う。

●冬季除雪事業（1月28日まで）
2月に最大積雪217cmの豪雪、町道除雪機械も散布車も稼働数が多い。

Q 西口駅広足湯付近の大量の雪は
駅出入りに危険、撤去できないか。
A 県に要望する。

Q 滝沢3号線の除雪できないか。
A 1・2・3号線とも対処する。

●上下水道課 当年度事業の進捗
●下水道事業

・湯沢浄化センター再構築工事
・土樽松川処理区統合実施設計
・社会資本総合整備事業

●水道事業
・水道施設中央監視システム更新
・上水2区域水道施設更新

・上水2区域水道施設更新
・排水管布設替

●上下水道利用状況
新型コロナウイルスの影響で使用水量が低下。大幅な減収と予想。

新型コロナウイルスの影響で使用水量が低下。大幅な減収と予想。

議員全員協議会

1月15日

総務部

十日町市との裁判の経過

裁判で必要な境界線を引くための測量費用として、令和3年度予算に1,100万円を計上。

湯沢町総合計画

総合計画の位置づけ、策定経過、計画の構成と期間及び今後の予定

12月24日

総合計画審議会から答申

1月21日～2月19日 パブコメ

3月議会議案提出

子育て教育部

湯沢学園関係の報告

令和3年度マグナ教育交流の中止

- 湯沢学園第一体育館の漏水
- 認定こども園希望者全員受入れ
- 国旗掲揚塔の撤去
- 越後湯沢全国童画展の審査会、作品展は延期

湯沢町総合計画への議会の

対応

2月中旬までにまとめる方針。

議会基本条例等検討委員会

令和3年度も協議。また兼業禁止規定の検討。

国の新型コロナウイルス感染拡大に伴う国の緊急事態発令に対する湯沢町の対応及び記録的豪雪対応

議会としても要望をまとめて提出。

1月21日

町有地活用スキー場のシーズン途中における平日休業

スキー場の平日営業休止で地域に混乱が生じたことから、3月末のスキー場の町有地貸付契約更新時に、契約書に加筆を検討。

湯沢町総合計画(案) 内容確認

議会としての意見書のとりまとめ。

1月25日

町有地活用スキー場のシーズン途中における平日休業

契約書に「シーズン中途における全面営業休止等の大幅な営業形態の変更については、事前

に乙(町有地借地者)は甲(湯沢町)に報告、協議するものとする。」という趣旨の条項の明記などを議会として申し入れる。

新型コロナウイルス感染症対策及び異常豪雪に対する町への要望

それぞれ議員から出された要望内容を精査し、町長に提出予定。

2月15日

湯沢町総合計画(案)

意見をまとめ町長に提出予定。

3月25日

総務部

選挙管理委員会からの報告

旧湯沢小学校解体のため、湯沢地区の投票場は全て公民館へ。

総務市民部

湯沢町すくすく子育て応援

金規則の改正
応援金10万円を出生後と1歳誕生日後の2回(5万円ずつ)支給。

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施

高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施。

議会活動日誌

1月8日	議会広報常任委員会
12日	二市一町議会議員協議会「新こみ処理施設について意見交換会」(魚沼市)
15日	湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会 第1回議員全員協議会
18日	議会広報常任委員会
21日	第2回議員全員協議会
22日	議会広報常任委員会
25日	第3回議員全員協議会
26日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査(南魚沼市)例月出納検査
27日	新潟県市町村総合事務組合監査(新潟県自治会館)
28日	産業建設常任委員会
2月1日	生活福祉常任委員会
2日	湯沢町地下水対策委員会
4日	総務文教常任委員会
9日	湯沢町総合計画勉強会 新潟県後期高齢者医療広域連合 令和3年2月定例会(新潟県自治会館)
10日	湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会
15日	第4回議員全員協議会
16日	令和3年度第1回魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会(南魚沼市)
18日	湯沢町都市計画審議会
19日	新潟県町村議会議長会(新潟県自治会館)
25日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査(南魚沼市) 南魚沼地域広域計画協議会(南魚沼市) 湯沢中学校第61回卒業証書授与式
3月2日	湯沢中学校第61回卒業証書授与式
5日	議会運営委員会
8日	議会広報常任委員会
8日	第5回議員全員協議会
9日	第1回議会定例会
12日	二市一町議会議員協議会 議長会議(南魚沼市)
24日	湯沢小学校 第74回卒業証書授与式
25日	第6回議員全員協議会
30日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合監査(南魚沼市)



町長へ要望書を提出しました

新型コロナウイルス感染症

対策関係

- 各スキー場の現状把握のため、町主催のスキー場代表者会議を開催し、情報収集及び対策を検討
- 緊急事態宣言後、売上げが40%落ちた飲食業・宿泊業・商店へ給付金検討
- 新型コロナウイルスに感染した方々に陰性になるまでの間、飲料・食品の配給の検討
- など13件を要望

異常豪雪対策関係

- 豪雪対策のリフォーム補助金新設の検討
- 町内単位での除雪協力体制の強化方法の検討
- 豪雪時の生活弱者への見守り体制の強化
- 情報伝達の拡充
- など7件の要望

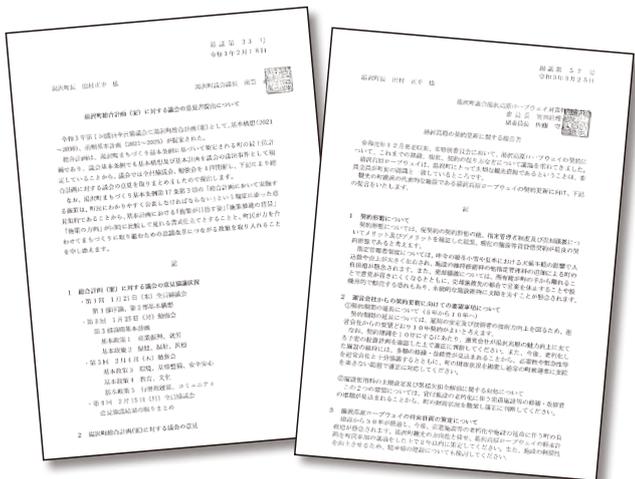
湯沢町総合計画

総合計画は、湯沢町まちづくり基本条例に基づいて策定される町の最上位計画であり、議会

における議決事件として規定されています。

1月15日の議員全員協議会において示された湯沢町総合計画(案)に対して、議会では全員協議会・勉強会を4回開催し、各議員の意見と協議結果を取りまとめ、議会からの意見書として町長に提出しました。

議会からの36項目の意見に対する施行部の対応が示され、7か所については計画の修正等が行われました。



湯沢高原ロープウェイ対策特別委員会

特別委員長 宮田 眞理子

令和元年12月に設置した特別委員会

では、これまでの経緯、現状、契約の

あり方等について議論を重ねました。

湯沢高原ロープウェイは湯沢町の大切

な観光資源であることは委員全員の意

見が一致しています。

3月25日、町長室において佐藤守正

副委員長と共に、次のとおり提言いた

しました。

1 契約形態

現契約の契約形態、指定管理者制度

及び売却譲渡についてのメリット及び

デメリットを検証した結果、現在の施

設等賃貸借契約が最良の契約形態であ

ると考えます。

指定管理者制度は、入込数や売上に

大きく左右され、指定管理料の追加に

よる町の負担増が懸念されます。売却

譲渡は、所有権が町から離れ意見が届

きにくくなり、売却譲渡先の都合によ

る営業休止や投機目的での転売の恐れ

もあり、永続的な施設維持に支障を来

すことが懸念されます。

2 運営会社からの契約更新に向け

ての要望事項

① 契約期間の延長について(5年か

ら10年へ)

雇用の安定と技術力の向上を図るた

め、運営会社からの要望どおり10年契

約がよいと考えます。運営会社が湯沢

高原の魅力向上に充てる予定の投資計

画を確認し、適正に判断してください。

老朽化した施設の維持修繕は、必要性

や緊急性等を運営会社と十分協議し、

適正に対応してください。

② 施設使用料の上限設定及び累積欠

損金解消に関する対処

貸付施設の老朽化に伴い、索道施設

等の修繕改修費の増額が見込まれるた

め、町の財政状況を勘案し、適正に判

断してください。

3 湯沢高原ロープウェイの将来計

画の策定について

湯沢町観光の方向性とあわせ、将来

計画を2年以内に策定してください。

また、駐車場建設についても検討して

ください。

副町長
退任ご挨拶



副町長
関根伸幸

平成30年4月の就任以来、3年間でございましたが、田村町長を補佐しながら精一杯努めさせていただきました。在職期間中は、町民の皆さまをはじめ、多くの皆さまからの温かいご指導、ご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆さまとのご縁を大切に、これからも違った立場で湯沢町に何かしらの貢献ができればと考えておりますので、今後も変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本町の益々の発展と、皆さまのご健勝をご祈念申し上げ、退任のあいさつとさせていただきます。

令和2年度の議員の出勤簿を公開します 出席簿の期間
令和2年4月30日～令和3年3月31日

会議名	本会議 (臨時含7回)				常任委員会(総務文教・生活福祉・産業建設・議会広報)				議会運営委員会				特別委員会(補正予算・決算・当初予算・湯沢高原ロープウェイ対策)				議員全員協議会			
	日出席 必要数	欠席 数	早退 回数	遅刻・ 早退理由	日出席 必要数	欠席 数	早退 回数	遅刻・ 早退理由	日出席 必要数	欠席 数	早退 回数	遅刻・ 早退理由	日出席 必要数	欠席 数	早退 回数	遅刻・ 早退理由	日出席 必要数	欠席 数	早退 回数	遅刻・ 早退理由
渡辺千恵	21				34	1	1	遅欠⑥	/				15				14			
和田一郎	21	1		④	37	2		④	7				15				14	2	1	欠④ 遅④
南雲好幸	21				37	2		④	/				15				14			
並木利彦	21				36				/				15				14			
高橋政喜	21				36	1		④	7				15				14			
岸野雅人	21				34				7				15				14			
関忠夫	21	1		⑤	21	3		④⑤	7				15	1		④	14	6		④
宮田真理子	21				19				/				15				14	2		④⑤
田村計久	21	1		⑤	21				7				15				14	1		⑤
佐藤守正	21	1		④	19	2		④	7				15				14	1		④
白井孝雄	21				24	1		④	/				15				14			
南雲正	21				/				/				/				14			

*欠席・遅刻・早退の記載方法：欠(欠席)、遅(遅刻)、早(早退)と表示。
理由の記載方法：④病気等(自身、家族を含む)、⑤冠婚葬祭(出席案内をもらった場合も含む)、
⑥議員としての公務等出張、⑦事故等、⑧自己都合、④～⑧で表示。

編集後記



1年前の編集後記、新型コロナウイルスの感染拡大、世界は未曾有の事態とありました。1年経った今も、ワクチン接種は始まりましたが、未だ収束は見通せません。

湯沢町でも、令和2年度はさまざまな行事やイベントが中止や延期という判断をせざるを得ず、緊急事態宣言の発令などにより観光客は激減、地域経済は過去にない厳しい状況に置かれています。

また議会では、6月・9月・12月、さらに3月もウイルス関連の議論が行われました。令和3年度も、引き続き感染防止対策に努めながら、この閉塞感から脱却し、疲弊した地域経済の立て直しに向けた議論を深めたいと思います。

議会広報常任委員会

- 委員長 南雲好幸
- 副委員長 並木利彦
- 委員 岸高和 野橋田辺 雅政 人喜郎

編集委員 和田一郎